

enechange

健全な電力ガス比較サイト運営にむけての取り組み

2016/03
エネチェンジ株式会社

1. エネチェンジ社概要（別紙）
2. 健全なサイト運営に向けての取り組み
 1. 公平性・中立性の担保
 2. 媒介業者としての法令遵守姿勢
 3. 個人情報管理の徹底
3. 公平性のある競争環境の整備に向けた提言
 1. 政府機関の認証制度の導入
 2. スマートメーターデータ管理の自由化

2. 健全なサイト運営に向けての取り組み

エネチェンジは現在28社152プランに対応（2016年3月9日時点）しており、今後も各小売事業者のプランが発表・更新され次第、速やかに診断結果画面に反映していく方針です。また、各小売事業者からの問い合わせフォームを準備し、内容に不備等がある場合の訂正受付フォームも準備中です。なお診断結果には、小売事業者との金銭的契約の有無は反映させません（但し、エネチェンジ上から直接申し込みができる代理店契約締結事業者は、ユーザーの利便性を高める要素として「おすすめ軸」では考慮）。

小売電気事業者様向け 掲載情報確認窓口

このページは、**小売電気事業者様** からの掲載情報のご確認、訂正のご依頼等の受け付け窓口です。
エネチェンジでは、情報の正確性確保や充実のため、小売電気事業者様より掲載情報のご確認、訂正等のご依頼等を随時受け付けております。

- 小売電気事業者様からの訂正ご依頼は、ご連絡いただく会社様のプランに関するもののみを承っております。
- 消費者の皆様からのお問い合わせは [こちら](#) よりお願いします。
- 取材・プレス関係に関するお問い合わせは [こちら](#) よりお願いします。
- お仕事のメールがお手元に届きますよう、PCからのメールを受信可能なメールアドレスにてお問い合わせ下さい。エネチェンジからのメールはenechange.co.jpのドメインより送信させていただきます。
- エネチェンジの公平・中立性を確保するため、ご依頼にお応えし兼ねる場合がございますことを予めご了承ください。

会社名 (必須)

部署名

ご担当者様名 (必須)

ご担当者様のメールアドレス (必須)

電話番号 (必須)

お問い合わせ事項 (選択必須)

お問い合わせの内容

エネチェンジは、小売事業者と需要家との間の「媒介業者」として、料金その他の供給条件についての説明や、小売供給契約の締結に必要な手続きを需要家に対して行っております。なおwebサイト上の利用規約や、各小売事業者との重要契約につきましては、エネチェンジの顧問弁護士事務所である森・濱田松本法律事務所の市村弁護士（～2015年経済産業省資源エネルギー庁出向）より法務レビューを頂いております。

需要家に対して正確な情報を伝え、利便性の高いサービスを提供することによって、電力システム改革の一助となることが、企業としての社会的責任であると考えております。

1. 電気事業法で関連する条文

（供給条件の説明等）

第二条の十三

小売電気事業者及び小売電気事業者が行う小売供給に関する契約（以下この項及び次条一項において「小売供給契約」という。）の締結の媒介、取次ぎ又は代理を業として行う者（以下この条、次条及び第二条の十七第二項において「小売電気事業者等」という。）は、小売供給を受けようとする者（電気事業者である者を除く。以下この条において同じ。）と小売供給契約の締結又はその媒介、取次ぎ若しくは代理をしようとするときは、経済産業省令で定めるところにより、当該小売供給に係る料金その他の供給条件について、その者に説明しなければならない。

enechange 2.3 個人情報管理の徹底

エネチェンジでは、契約小売事業者の切替を希望するユーザーの申し込み情報を受け付け、それらを切替先の小売事業者へ受け渡す業務を行うため、個人情報管理の徹底をしております。また並行してプライバシーマークの取得手続きを開始しております（2015年12月に審査出願済）。

代理店として受け付けた個人情報は、エネチェンジ社が独自準備をした顧客データベース管理システム経由で小売事業者へと安全に受け渡されます。具体的には、Switching Dashboardというアプリケーションを通じて各小売事業者へ受け渡す顧客情報を一元管理しており、小売事業者や役割ごとにアクセス可能な情報を制御できるよう、管理を徹底しています。



The image shows the login page of the enechange website. It features a teal header with the 'enechange' logo. Below the header is a white login form with two input fields: 'メールアドレス' (Email address) and 'パスワード' (Password). A teal 'ログイン' (Login) button is positioned below the password field. The footer contains the text '© Copyright'.



The image shows the 'Switching Dashboard' application interface. It has a teal header with the 'enechange' logo and navigation links for 'ユーザー管理' (User management) and 'ログアウト' (Logout). The main area contains several filter sections for searching data:

- 契約ステータス (Contract status): 全てのステータス (All statuses)
- 申込ID (Application ID): 申込ID
- 代理店 (Agency): 全ての代理店 (All agencies)
- 申込期間 (Application period): 今月 (This month)
- 開始日 (Start date): 開始日
- 終了日 (End date): 終了日
- 新しい小売事業者 (New retailer): 全ての小売事業者 (All retailers)
- 契約プラン (Contract plan): 契約プラン
- 現在の小売事業者 (Current retailer): 現在の小売事業者 (Current retailer)

A search button with a magnifying glass icon is located below the filters. A 'CSVダウンロード' (Download CSV) button is also present. Below the filters is a table with the following columns: 契約ステータス, 申込ID, 申込日時, 氏名, 住所, 新しい小売事業者名, 契約プラン, 現在の小売事業者名, 代理店名. The table content is mostly obscured by black redaction boxes.

3. 公平性のある競争環境の整備に向けた提言

enechange 3.1 政府機関の認証制度の導入

イギリスやドイツなどでは比較サイトが乱立し、一部比較サイトが「診断」と称して特定の電力会社への利益誘導を図ることが常態化した結果、消費者の信頼が失墜した経緯があります。イギリスでは、2013年よりConfidence Codeという認証制度を導入し、消費者の信頼回復に努めています。

日本でも既に複数の会社が比較サイト事業に参入しているものの、一部において、電力会社の網羅性が低い、診断時に時間帯、季節性等を考慮していないため不適切・不正確な結果を表示する、といったサイトが見受けられます。また一部サイトにおいては、弊社コンテンツの無断流用が認められる状況です。

電力という消費者には一見分かりにくい商材故に、政府機関の認証制度は、不適切な事業者の乱立に一定の抑止力が働くと考えております。またエネチェンジは、英国Confidence Codeを参考にした独自の高い倫理基準を設定し、今後も遵守していく方針です。



enechange 3.2 スマートメーターデータ管理の自由化

電力自由化は、スマートメーターの普及、活用をなくしては本来の趣旨は達成できないものと考えております。一方で、現時点ではAルートのみが準備されているため、結果として電力事業者が電力データを「独占」する形となっています。かかる状況下においては、需要家が電力会社を切り替える際に「過去のデータを新規事業者に容易に引き継げないこと」がネックとなり、競争上の公平性が損なわれることを懸念しております。（※イギリスでは、2016年4月よりACルートが開放され、第三事業者もユーザー同意の上で取得可能になります）。

エネチェンジとしては、このような状況への対応策の一つとして、Aルートデータのユーザー同意に基づく委託管理（下図参照）が有効ではないかと考えております。更に将来的には、Cルートの解放による「スマートメーターデータ管理の自由化」が実現されることを期待しております。

Aルート（例：東京電力 でんき家計簿）の連携

ユーザーにエネチェンジ上で、でんき家計簿のID、パスワードを登録してもらうことで、Aルート経由でのデータを管理することが可能です。（※参考 マネーフォワードによる銀行口座情報の取得）
但し、電力会社を切り替えた際は再度、新事業者の登録が必要などの手間がかかり、容易とは言えません。

① 既存電力会社の見える化アカウントを連携

② 過去の電気使用量を取得し診断に利用

イギリスDCCユーザー 出典：イギリスDCC 2015

